

Press Release



令和6年7月12日
地域交流部

JICA 青年海外協力隊が出発前に表敬訪問されます

市内在住の仲野 剛志（なかの つよし）さんがJICA青年海外協力隊員として出発されるにあたり、唐津市長を表敬訪問されます。派遣される国はセルビアで、2024年8月から2年間です。現地では野球の指導にあたられます。

1 日時

7月22日（月） 13:00～13:30

2 場所

市長公室応接室

3 参加者・応対者

（参加者）

JICA 青年海外協力隊員	仲野 剛志 氏
JICA 九州 研修業務課長	長井 秀文（ながい ひでふみ） 氏
JICA 九州 国際推進員	石川 洸（いしかわ こう） 氏
佐賀県協力隊を育てる会 会長	小原 嘉文（こはら よしふみ） 氏

（応対者）

唐津市長 峰 達郎
地域交流部長 ほか

4 資料

別紙をご覧ください。

（本件の問い合わせ先）

地域交流部 地域づくり課

担当：山崎、平河

電話：直通 0955-72-9220（内線 1661）

2024.7.22 JICA青年海外協力隊の出発前表敬訪問（仲野 剛志氏）

○JICA 青年海外協力隊要請理由

配属先のセルビア野球連盟はセルビア全体の野球の技術向上が必要と考えており、野球を通じた青少年の育成やスポーツマンシップの価値、フェアプレイを向上させ、若い世代へ野球を通じたスポーツ精神を伝えて欲しいという希望から JICA 青年海外協力隊の要請となった。協力隊員には、野球を通して礼儀や精神の鍛練を子どもたちに伝えること、野球の基礎技術の向上、日本での経験に基づく指導技術の向上等が求められている。

○予定活動内容

セルビア人野球指導者と共に、週 5 日夕方に行われる練習と週末に開催される大会やキャンプ等に参加し、以下の活動を行う。

- 1 同僚コーチと共に、クラブに通う児童へ指導を行う。
- 2 野球を通じてスポーツの精神的な考え方、フェアプレイを伝える。
- 3 他のクラブのコーチを含む指導者に向けた指導法セミナーを行う。
- 4 大会や練習キャンプに帯同・指導する。

○表敬訪問流れ

- ・出席者紹介
- ・隊員プロフィール紹介
- ・同行者から一言
- ・隊員から一言
- ・市長から激励の言葉
- ・歓談
- ・記念撮影